

# 総務文教常任委員会資料

平成 2 8 年 9 月 2 日

協 働 部

秘書広報課・防災課：

□ケーブルテレビのe o光への移行と防災行政無線の整備状況について

ケーブルテレビのe o光への移行について・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1

防災行政無線の整備状況について・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2

企画協働課：

□加東市地域公共交通網形成計画における取組施策について・・・・・・別冊

## ケーブルテレビのe o 光への移行について

### 1) e o 光テレビサービス加入申込件数

年月日	加入申込件数	備考
平成 27 年 4 月 1 日	5, 7 2 8 件	
平成 28 年 4 月 1 日	7, 4 2 2 件	平成 28 年 3 月 31 日 KCV インターネットサービス終了
平成 28 年 7 月末	8, 2 3 0 件	

※1：加入申込件数は、e o 光サービス運用開始までを含みます。

※2：加入申込件数 8, 2 3 0 件のうち、KCV からの移行 7, 5 3 0 件、  
新規加入 7 0 0 件。

### 2) 加東ケーブルビジョン加入件数

年月日	加入件数	備考
平成 27 年 4 月 1 日	8, 3 7 2 件	
平成 28 年 4 月 1 日	2, 8 5 1 件	平成 28 年 3 月 31 日 KCV インターネットサービス終了
平成 28 年 7 月末	8 1 1 件	最大加入件数約 9, 500 件/平成 23 年 9 月

## 防災行政無線の整備状況について

### 1) 戸別受信機の設置進捗状況

地域	世帯数 (H28.7末住民登録)	申込総数 (H28.8.22現在)	設置完了数 (H28.8.22現在)	受付時期
社地域	8,129世帯	4,079件	2,285件	H28.1～一部地域 H28.4～全域
滝野地域	4,933世帯	1,070件	22件	H28.7～
東条地域	2,823世帯	610件	0件	H28.8～
合計	15,885世帯	5,759件	2,307件	

※1：申込総数は「工事連絡票」の返送件数。

※2：申込総数及び設置完了数は、一般住宅のほか、事業所や施設分の数量も含む。

※3：設置完了数2,307件のうち、屋外アンテナあり847件、屋外アンテナなし1,460件。

### 2) スケジュールについて

平成29年4月からの本運用開始に向けて整備を進めている。平成29年1月から、加東ケーブルビジョンの音声告知サービスと併用し、試験運用を開始する予定。

## 加東市地域公共交通網形成計画における取組施策について

## &lt;現在の加東市の地域公共交通&gt;

## 1. 鉄道（JR 加古川線）

運営：西日本旅客鉄道株式会社

乗降駅：市内3駅（社町駅、滝野駅、滝駅）

## 2. 高速バス（中国道ハイウェイバス）

運営：西日本ジェイアールバス株式会社、神姫バス株式会社

乗降バス停：市内4停留所（東条、社、滝野社インター、滝野）

※滝野は西脇営業所発着便のみ。

- ①津山～京都
- ②津山・加西・西脇～大阪・USJ
- ③山崎～三宮

## 3. 路線バス

運営：神姫バス株式会社（関連会社含む）

乗降バス停：市内84停留所

## 1) 他市町に跨る路線

- ①西脇三ノ宮線      ②社明石線      ③社三田駅線（久米経由、大学経由）
- ④社町駅三田駅線（大学経由）      ⑤社姫路駅線
- ⑥アスティアかさい嬉野台生涯教育センター線      ⑦天神電鉄小野駅線
- ⑧社西脇線      ⑨相野駅清水・清水寺線

## 2) 市内完結路線

- ①社町駅社高校線      ②社町駅天神線      ③社町駅嬉野台生涯教育センター線
- ④天神松沢線（南山経由、南山・東地区循環）

## 4. 市町村運営有償運送

運営：加東市

路線：2路線

- ①米田ふれあい線（運行委託：米田地区区長会）
- ②きよみず線（運営委託：きよみずバス協議会）

## 5. タクシー

市内に営業所を持つ事業者

交通事業者：播州交通株式会社

## <将来の加東市地域公共交通についての方向性>

### 1. 既存路線の維持確保

中国道ハイウェイバスや社明石線、西脇三ノ宮線をはじめとする収支率の高い路線については、維持するとともに、さらに利用者増のための施策を展開し、維持・確保に努めていく。

(施策 1、4、5)

### 2. 既存路線の再編

収支率の低い路線については、ダイヤ改正や一部ルートの見直しを行うなど収支改善に努める。

- ・天神電鉄小野駅線（東条地域循環含む）については、現在、東条地域内を循環する路線について国の補助を受けて運行している。利用者が少なく収支率も低いことから、天神松沢間については、現在の路線バスの運行からデマンド型乗合タクシー等の新しい運行形態を導入し、小野市への利用者については、社営業所経由での利用をお願いする。
- ・社三田駅線については、これまでもダイヤ改正や一部ルート見直しなどで収支改善に努めてきたが、利用者の減少が止まらないことから、路線を統合する（久米経由を大学経由に統合する）などの大幅な再編を行う必要がある。この場合、市町村運営有償運送やデマンド型乗合タクシー等の導入により補う。

(施策 1、4、7)

### 3. 市町村運営有償運送及びデマンド型乗合タクシー等の導入

現在運行している市町村運営有償運送の2路線については、利用者が増加していることから、今後も維持確保に努めていく。また、現在公共交通が運行していない交通空白地や、路線バスの収支率が低い地域においては、市町村運営有償運送やデマンド型乗合タクシーの導入を進める。

※3 ページ「加東市地域公共交通図」参照

(施策 7、15)

### 4. やしろショッピングパーク Bio バスターミナルの設置

中心市街地の活性化の核となる新たな拠点の創出に向けて、やしろショッピングパーク Bio の駐車場内にバスターミナルを整備し、同施設を地域の活性化の核となる交流拠点とし、広域路線が発着することで、交通の結節点としての役割を果たす。

(施策 1、3)

※施策番号は4 ページ以降参照（1～16の施策）



基本方針①：土地利用に応じた、機能的なまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化

1. 中心市街地の活性化の核となる新たな交流拠点の創出に向けた再整備 **重点施策**

取組概要

中心市街地の活性化に向けた、やしろショッピングパーク Bio の交流拠点としての再整備

- 加東市内の主要商業施設である、やしろショッピングパーク Bio の駐車場内に市内の各所や隣接市及び神戸・姫路方面を結ぶ路線バスのバスターミナルを整備する。
- バスターミナルの整備による加東市中心部へのアクセス性の向上や交流人口の増加を図り、加東市中心市街地の活性化の核となる新たな交流拠点づくりを目指す。
- やしろショッピングパーク Bio の駐車場を活かしたパーク&バスライドやサイクル&バスライドの推進により、神戸や姫路等へ行き来する広域幹線の路線バスの利用促進を図る。

【やしろショッピングパーク Bio の整備】

- 駐車場部分の一部を改良して、路線バス停留所を整備

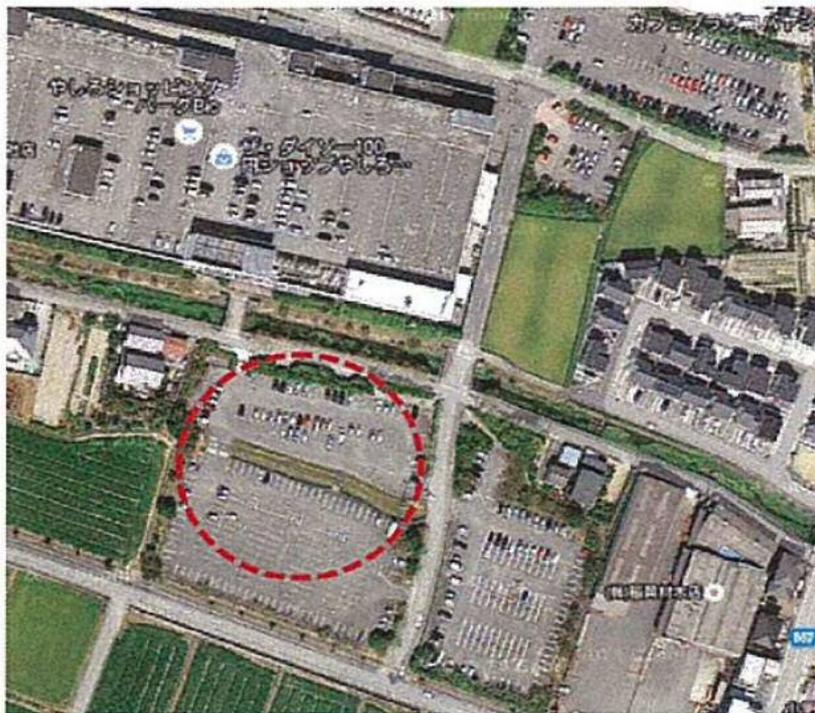


図 バスターミナル整備箇所案

事業エリア	やしろショッピングパーク Bio							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		◎	◎		◎		Bio

- やしろショッピングパーク Bio は社地域だけではなく、滝野地域からも来訪者が多い。

Q5-1-1)加東市内平均訪問頻度(単位: 回/週)

	社	福田	米田	三草	鴨川	滝野東	滝野南	東条東	東条西
N	491	127	89	101	30	376	123	186	128
市役所周辺	0.778	0.330	0.752	1.007	0.477	0.318	0.260	0.406	0.546
加東警察署・県総合庁舎・やしろショッピングパーク Bio 周辺	1.414	1.246	1.110	1.291	0.672	0.859	1.120	0.429	0.694
マックスバリュ社店周辺	1.268	0.498	0.920	1.296	0.555	1.079	0.592	0.303	0.416
ボンマルシェ周辺	1.166	0.665	0.985	1.119	0.479	0.582	0.392	0.327	0.732
加東市民病院	0.206	0.153	0.138	0.136	0.197	0.126	0.058	0.106	0.118
社パーキングエリア周辺	0.097	0.027	0.272	0.134	0.047	0.127	0.011	0.027	0.044
兵庫教育大学	0.279	0.014	0.558	0.155	0.066	0.114	0.038	0.121	0.156
やしろ国際学習塾周辺	0.050	0.019	0.106	0.831	0.233	0.114	0.021	0.040	0.099
社児童館・平池公園周辺	0.137	0.701	0.142	0.094	0.000	0.041	0.016	0.013	0.060
松原メイフラワー病院周辺	0.084	0.039	0.260	0.114	0.072	0.109	0.011	0.118	0.234
社地域内の個人医院	0.088	0.098	0.101	0.181	0.142	0.053	0.037	0.025	0.047
社地域その他	0.210	0.100	0.357	0.272	0.334	0.053	0.058	0.062	0.114
滝野温泉ほかば周辺	0.081	0.058	0.046	0.251	0.007	0.257	0.182	0.059	0.044
播磨中央公園・滝野公民館・滝野図書館・滝野文化会館	0.165	0.099	0.070	0.200	0.011	0.485	0.279	0.094	0.059
闘竜灘、ジャパン滝野店周辺	0.181	0.204	0.022	0.276	0.012	1.240	0.425	0.064	0.107
滝野郵便局、JA滝野支店周辺	0.136	0.058	0.022	0.181	0.005	1.151	0.319	0.046	0.063
滝野総合公園体育館(スカイピア)周辺	0.116	0.047	0.055	0.056	0.002	0.288	0.742	0.013	0.064
滝野社インター周辺	0.466	0.346	0.275	0.336	0.108	1.185	0.559	0.060	0.124
滝野地域内の個人医院	0.043	0.022	0.002	0.124	0.006	0.116	0.325	0.008	0.018
滝野地域その他	0.107	0.008	0.001	0.096	0.074	0.156	0.421	0.021	0.034
東条文化会館・東条図書館周辺	0.020	0.012	0.178	0.013	0.012	0.020	0.011	0.737	0.601
とどろき荘周辺	0.033	0.088	0.106	0.022	0.029	0.018	0.041	0.837	0.893
マックスバリュ東条店周辺	0.022	0.047	0.450	0.033	0.166	0.013	0.000	1.623	1.564
ひょうご東条インター周辺	0.060	0.106	0.264	0.064	0.060	0.193	0.010	0.957	0.561
JA 東条支店・東条郵便局周辺	0.022	0.013	0.148	0.009	0.028	0.104	0.000	1.128	0.668
東条湖おもちゃ王国周辺	0.041	0.007	0.294	0.040	0.158	0.167	0.138	0.391	0.048
東条地域内の個人医院	0.002	0.000	0.017	0.004	0.013	0.020	0.000	0.226	0.156
東条地域その他	0.083	0.003	0.052	0.002	0.249	0.002	0.000	0.165	0.245
市内その他	0.032	0.040	0.011	0.049	0.002	0.076	0.137	0.025	0.108

※「ほとんど行かない」(0.0 回)、「2ヶ月に1回程度」(0.125 回)、「1ヶ月に1回程度」(0.25 回)、「2週間に1回程度」(0.5 回)、「週に1・2回」(1.5 回)、「週に3・4回」(3.5 回)、「週に5回以上」(6.5 回)として計算。

参  
考  
資  
料

2. パーク&ライドやパーク&バスライドのための駐車場の確保

取  
組  
概  
要

鉄道や高速バスの利用者増加に向けて、パーク&ライドやパーク&バスライドを推進するための駐車場の確保

- 更なる鉄道や高速バスの利用者の増加に向けて、鉄道駅や高速バス停留所付近での駐車場・駐輪場の確保・供給を誘導する。
- 地権者等に対する土地の有効活用を提案し、個人宅等の空きスペースの有効活用や空地・休閒地等での新たな駐車場・駐輪場の整備を推進する。
- 市営、民営の既存駐車場の情報をホームページ等で周知する。

【パーク&ライドの整備イメージ】

- 鉄道駅や高速バス停留所周辺の空地等を活用し、駐車場を確保



滝野社インター周辺駐車場



社 PA 周辺駐車場



JR 社町駅前駐車場



JR 滝野駅駐車場

図 パーク&ライド・パーク&バスライドの現況

事業 エリア	鉄道駅（社町駅、滝野駅、滝駅）や高速バス停留所（滝野社 IC 停留所、社停留所、東条停留所、滝野停留所）の周辺							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎			○	○	企業等

- 鉄道駅や高速バス停留所の周辺には市営・民営合わせて、約 265 台分の駐車場が整備されている。
- 現在 177 台分が利用されており、空区画の利用促進や整備区画数の少ない箇所については、追加整備を検討する必要がある。
- 滝野社インター周辺の利用者数の属性は会社員が多く、通勤・出張等での利用が推測される。

参考表 鉄道駅及び高速バス停留所周辺の駐車場の利用状況

箇所		番号	種別	区画数	利用数	設置者
鉄道駅	社町駅周辺	①	月極	34台	24台	加東市
		②	一時	25台	22台	加東市
		③	月極	11台	7台	民間
		④	月極	6台	3台	民間
	滝野駅周辺	⑤	月極	12台	約6台	民間
		⑥	一時	5台	5台	加東市
		⑦	一時	6台	6台	加東市
合計				99台	73台	

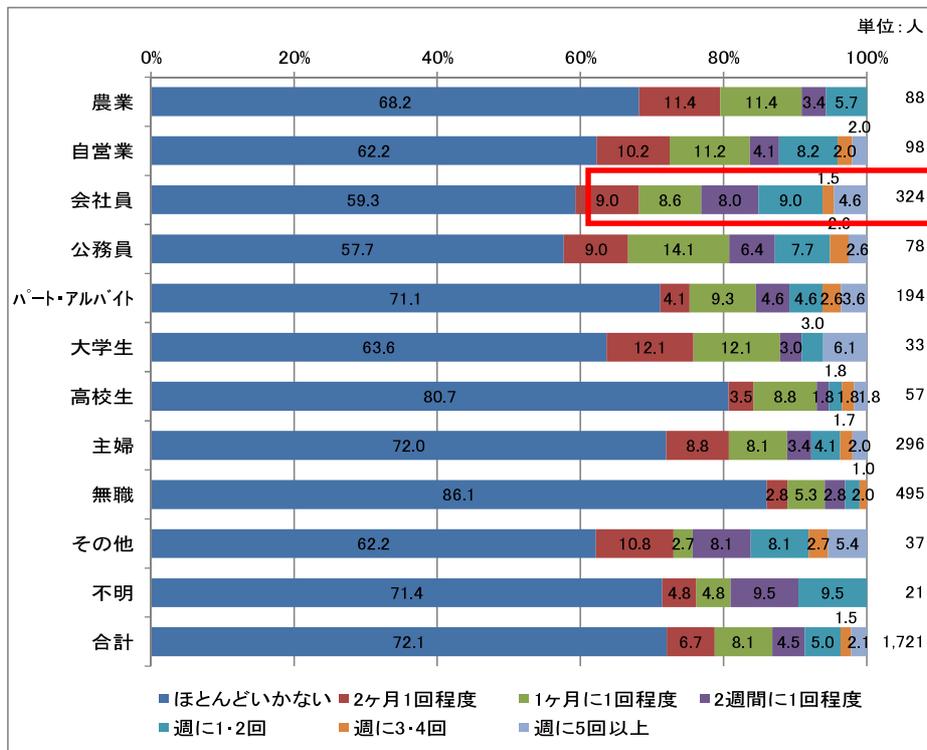
  

箇所		番号	種別	区画数	利用数	設置者
高速バス停留所	東条バス停周辺	⑧	月極	21台	6台	民間
		⑨	一時	約17台	11台	民間
	社バス停周辺	⑩	一時	7台	7台	加東市
		⑪	一時	14台	14台	加東市
	滝野社インターバス停周辺	⑫	月極・一時	13台	13台	民間
		⑬	一時	56台	31台	民間
	滝野バス停周辺	⑭	月極	約30台	約16台	民間
		⑮	月極	約8台	6台	民間
合計				166台	104台	

合計				265台	177台
----	--	--	--	------	------

※平成 28 年 3 月 31 日現在



参考図 滝野社インター付近の利用者の属性

3. 東西にある既存ストックの有効活用による観光・交流のまちづくり

取  
組  
概  
要

滝野産業展示館（にぎわいプラザ・加東市観光協会）・道の駅とうじょうを観光の拠点として連携

- 市内外から来訪者がある、滝野産業展示館と道の駅とうじょうについて、新たな交通の結節点となる、やしろショッピングパーク Bio のバスターミナルを中心に東西の観光の拠点として地域公共交通で結ぶことで、市全体での観光・交流の活発化を図る。
- 加東市を来訪する観光客、市民及び交通事業者の意向を把握し、滝野産業展示館と道の駅とうじょうとの連携強化を図る。連携強化の方法としては、既存の路線バスの乗り継ぎの利便性向上等が考えられる。

【観光拠点の連携のイメージ】

新たな交通結節点を中心とした観光2拠点を結ぶ地域公共交通ネットワークの形成等



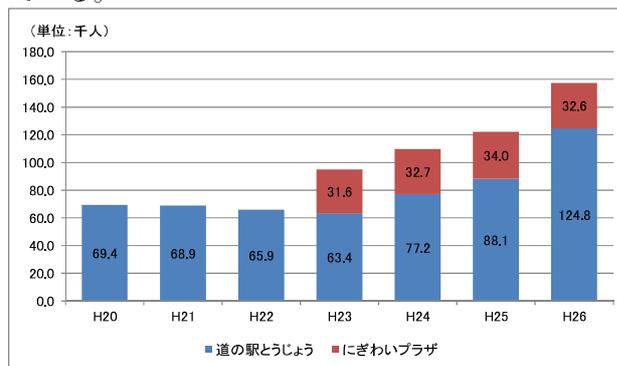
事業 エリア	滝野産業展示館、道の駅とうじょう周辺							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	◎	◎	○	企業等	

- 買い物等の観光拠点として、滝野地域に滝野産業展示館、東条地域に道の駅とうじょうが位置している。物産販売やレストランを備え、観光に関する情報や地元の名産品・特産品を販売している。

参考表 滝野産業展示館と道の駅とうじょうの基本的な情報の整理

	滝野産業展示館	道の駅とうじょう
概観・所在地	 <p>加東市河高 4028 番地 最寄り交通： 社町駅徒歩 10 分 社町駅バス停留所徒歩 10 分</p>	 <p>加東市南山 1 丁目 5 番地 1 最寄り交通： 南山東バス停留所徒歩 1 分</p>
設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料駐車場</li> <li>・車いす対応トイレ</li> <li>・観光案内所</li> <li>・イベント広場</li> <li>・近隣の工業団地企業の製品等の展示</li> <li>・レストラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料駐車場</li> <li>・車いす対応トイレ</li> <li>・農産直売所</li> <li>・特産館</li> <li>・情報提供コーナー</li> <li>・コンビニエンスストア</li> <li>・レストラン</li> </ul>
周辺の観光資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝野総合公園</li> <li>・夕日ヶ丘公園パークゴルフ場</li> <li>・加古川流域滝野歴史民俗資料館</li> <li>・県立播磨中央公園</li> <li>・滝野温泉ぼかぼ</li> <li>・闘竜灘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東条湖おもちゃ王国</li> <li>・アクア東条</li> <li>・東条温泉とどろき荘</li> <li>・東条健康の森</li> <li>・やしろの森公園</li> <li>・ゴルフ場</li> </ul>

- 道の駅とうじょうの来場者数は年々増加しているが、滝野産業展示館については、ほぼ横ばいとなっている。



参考図 道の駅とうじょう及び滝野産業展示館（にぎわいプラザ）の来場者数

4. 広域交通(鉄道・高速バス)の利便性の高さや鉄道駅・高速バス停留所とのアクセス性の低さ等のギャップを埋める地域公共交通網の見直し・改善 重点施策

取組概要

路線バスと鉄道・高速バスの利用者増加を図るための運行ダイヤの見直しやバス停留所位置の変更等による連携強化

- 運行ダイヤの見直しにより乗り継ぎに要する待ち時間の短縮や、路線バス停留所の位置を見直すことにより乗り継ぎに要する移動距離を短縮する。
- 連携強化のための路線バスの路線再編。

路線バスと鉄道・高速バスの連携に関するPR

- 路線バスや鉄道・高速バスの連携に関する情報提供（PR）。
- 案内ポスターの掲示、市の広報紙やホームページ、ケーブルテレビ等を用いた乗り継ぎ利用に関する周知。

- 高速バス停留所や鉄道駅の発着時刻と路線バス停留所の発着時刻に 10 分以上の乗り継ぎ待ち時間のある時間帯が多い。

例えば、滝野社インター停留所から高速バスに乗り換えて、大阪方面に向かう場合、10 便は乗換え待ちに 10 分以上を要する。

参考表 高速バスでの乗り継ぎ（滝野社インター停留所の例）

平日	路線バス				停留所間の移動時間 1分	高速バス			
	滝野社インター					滝野社インター			
	三ノ宮	【急行】小野・三木・御坂・三宮	西脇営業所			京都駅	大阪駅	新大阪駅	USJ
5	51								
6	36					16	46		
7	6	36				16	1 31 46		
8	36	26	56	05		11 46		1 16	
9	36	56		14		16 46			
10	36	56		45		21 16 46			
11	36					21 16 46			
12	36	6		14		16 46			
13	36	46		14		16 46			
14		46		14		16 46			
15	36	46		14		16 46			
16	36	46		14		16 46			
17				07		16 46			
18	36					51 16 46			
19	36					16			
20						16 19			
21									
22									
23									

※平成 28 年 5 月現在

※グレーの網掛け部分は路線バスから高速バスへの乗り換え待ち時間に 10 分以上（移動時間除く）を要する便。

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	◎	○	○		

5. さらなる定住化・交流の促進を目指した高速バスの利便性向上

取  
組  
概  
要

広域幹線の役割を担う高速バスのより一層の利便性向上

- 運行ダイヤや運行ルート変更等の利便性の向上策の検討に際しては、高速バスが通過する市町及び交通事業者とも十分に協議を行う。

【高速バス利便性向上のイメージ】

- 東京等の遠方への出張の活用を考慮（新大阪駅での新幹線乗換）した運行ダイヤの検討

図 早朝便の増便（例）



図 深夜便の増便（例）



事業 エリア	加東市全域							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		◎		○	○		

6. 小中一貫校の開校時期にあわせて運行するスクールバスの有効活用に関する検討

取組概要

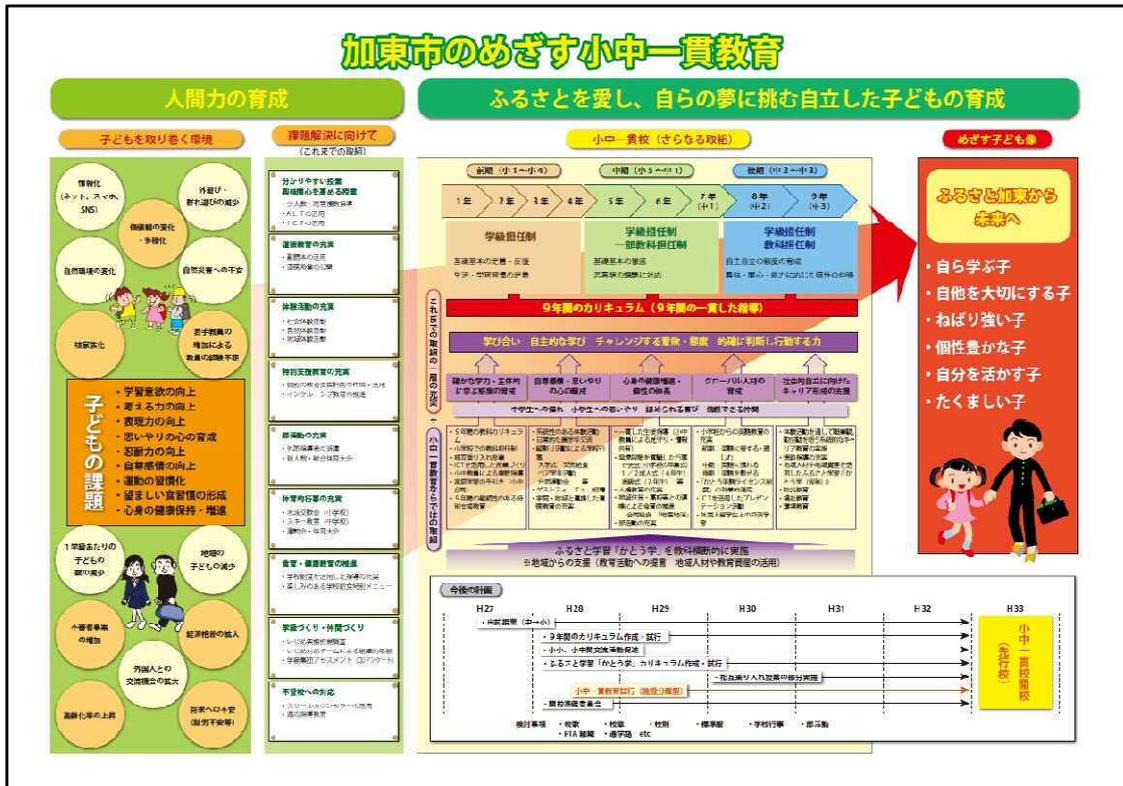
平成 33 年度の小中一貫校の開校（東条地域）に併せて、児童・生徒の通学手段としてのスクールバス整備

- 小中一貫校開校に伴い、遠距離通学となる児童・生徒が発生する。
- 平成 33 年度の開校に間に合うように、児童・生徒の通学手段としてスクールバスを導入する。

通学時間帯以外のスクールバス路線の有効活用に関する検討

- スクールバスの運行開始後に児童・生徒が安全・安心に通学できることを前提とした活用方法を検討する。

平成 28 年 6 月に加東市東条地域小中一貫校開校準備委員会が発足した。  
今後、通学方法についても協議検討が行われる。



出典：加東市ホームページ

参考図 加東市のめざす小中一貫教育

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		◎			◎		

7. タクシーの有効活用に向けた取組

**重点施策**

取組概要

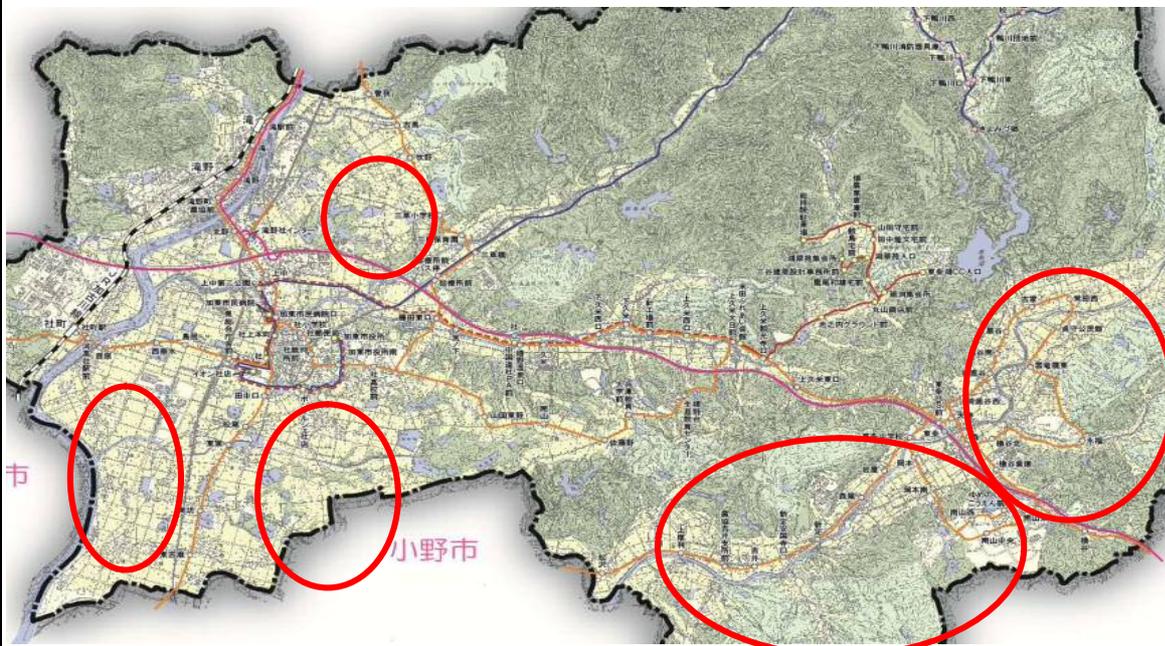
交通空白地等におけるタクシーの有効活用

- 交通空白地または路線バスの利用者数が少なく、路線の維持に多額の補助が必要となっている地域において、タクシーの有効活用について取り組む。
- タクシーの有効活用の方法としては、定時定路線型乗合タクシーやデマンド型乗合タクシーを検討する。
- 利用者の年齢や地形等の地域の特性を把握して、既存交通の運行状況も踏まえて、交通弱者の日常生活の移動ニーズに応えられるように取組を進める。
- 調査・検討の結果、タクシーの有効活用を実施する場合は、まず社会実験を行い、必要性・有用性を把握する。

福祉タクシー事業の有用性に関する検証及び事業の再検討

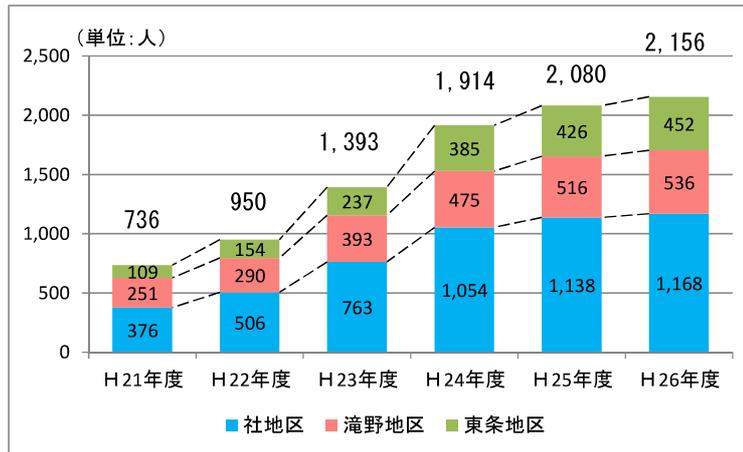
- 福祉タクシー事業については、年間の交付枚数が一律であることから、地域によっては距離的な不公平感が否めない。また、約2,200万円/年の市負担であるため、現状の利用実態を明確に把握し、有用性を検証する。
- 利用実態に応じて、事業の再検討を行い、より適切な利用を図れるようにする。

【定時定路線型乗合タクシーやデマンド型乗合タクシーの導入候補区域】

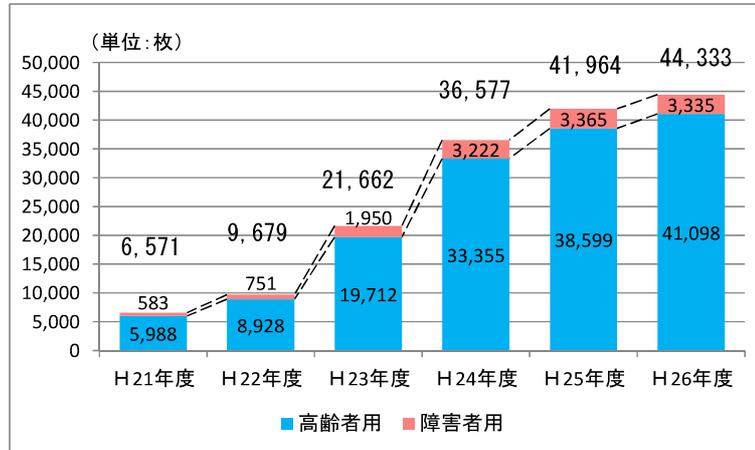


事業エリア	加東市内							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		○	◎		◎	Bio	

- 加東市では、高齢者や障害者を対象として、利用費用の一部を負担（タクシーの利用券を年間 15,000 円（500 円×30 枚）を上限として配布）する福祉タクシー事業を実施している。
- 福祉タクシー事業の申請者数は年々増加しており、平成 26 年度には約 2,200 人が申請し、44,433 枚の利用があった。
- 利用増大に伴い、補助額も増大しており、平成 26 年度については、約 2,200 万円となった。



参考図 地区別年度別の申請者数の推移



参考図 チケット種別年度別利用枚数の推移

※定時定路線型乗合タクシー・・・決まった時間を決まったルートで運行するタクシー。

※デマンド型乗合タクシー・・・事前に予約をし、利用者のある時間のみ運行する乗合タクシー。運行方式は定路線型から自由経路ドアツードア型など様々である。

8. 地域、学校や事業所等を対象としたモビリティ・マネジメントの実施

取  
組  
概  
要

現在の自家用車に依存した状況から、健康や環境にとって良い地域公共交通による移動への自発的転換を促すモビリティ・マネジメントの実施

- 市民や加東市内の企業、小学生等を対象として、モビリティ・マネジメントを実施する。
- モビリティ・マネジメントでは、健康や環境にとって良い地域公共交通による移動について考え、自発的に自家用車からの転換を図る。

【児童や生徒を対象としたモビリティ・マネジメントの実施イメージ】

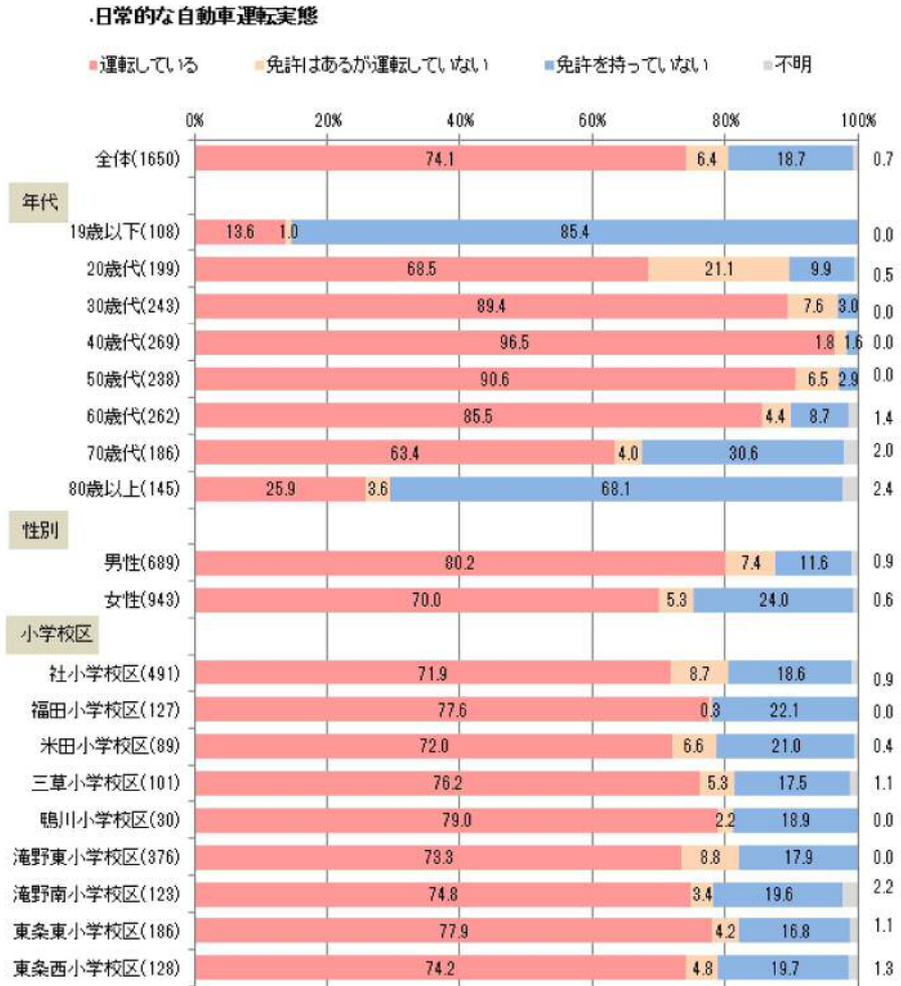
- 「公共交通」に関する講義や「バスの乗り方教室」等の体験学習



図 加東市における小学生向けのバスの乗り方教室の実施風景

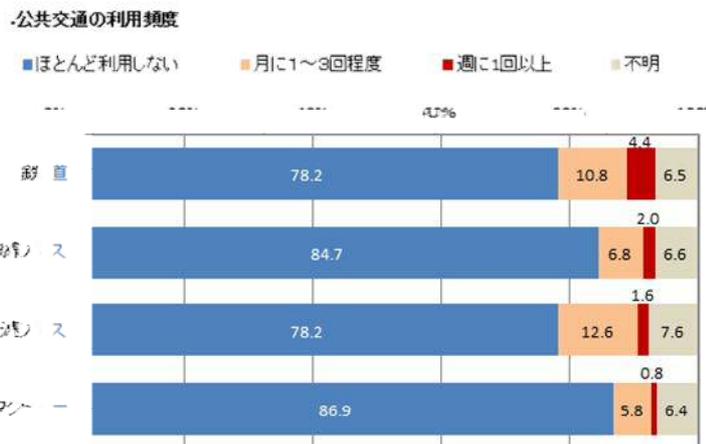
事業 エリア	加東市全域							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	◎		○	◎	企業等

- 交通行動調査及び意向調査によると、全体の 7 割が日常的に自家用車を運転しており、自家用車中心の生活となっていることが分かる。



参考図 日常的な自動車運転実態

- また、地域公共交通の利用頻度についてみると、約 8～9 割が鉄道・路線バス・高速バス・タクシーをほとんど利用しないと回答している。



参考図 公共交通の利用頻度

9. 地域公共交通に関する情報提供、地域公共交通 PR 施策の実施

取組概要

地域公共交通の利用方法や特典・割引等の情報提供・PRの実施

- 地域公共交通の潜在需要（何らかの理由でまだ地域公共交通を利用していない人）の利用促進を図るために、地域公共交通に関する情報提供を行う。
- 提供する情報としては、地域公共交通の利用方法（路線バスの乗降方法や運賃等）や運行ダイヤ、鉄道駅・バス停留所の位置、地域公共交通を利用した際の各種割引（飲食店での特典、パーク&ライドの駐車料金の割引等）が挙げられる。
- 情報の提供方法としては、加東市のホームページやパンフレット・チラシへの掲載、SNS、ラジオ及びケーブルテレビによる周知を行う。
- 近隣市と連携して地域公共交通に関するガイドマップを作成する。

【地域公共交通のPRのイメージ】

- Facebook 等の SNS を活用して、時刻表の更新や各種割引、イベント情報を PR



出典：神姫バス公式 Facebook ページ

図 神姫バスにおける公式 Facebook ページでの情報提供の事例

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	◎	◎			

10. 待合環境の改善

取  
組  
概  
要

既存のバス停留所の上屋・ベンチ等の設置や歩道幅員の改善

- 既存の路線バス停留所に上屋やベンチ等の設置、待合場所を確保するための歩道幅員の改善等を検討する。
- 検討に際しては道路使用許可の取扱条件等を踏まえ、交通事業者や道路管理者・交通管理者等の関係者と十分に協議を行う。
- 待合環境の改善策として、路線バス停留所付近のコンビニエンスストアや公共施設を活用することが考えられる。例えば、コンビニエンスストアと協議して、店内に路線バスの時刻表を掲示し、待合環境を改善することが挙げられる。

待合環境整備済みの例



JR 社町駅



滝野社インター停留所

待合環境未整備の例



東条 BS 前停留所  
(東条高速バス停留所最寄り)



嬉野温泉口停留所  
(社高速バス停留所最寄り)

事業 エリア	加東市全域							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	○	◎				企業等	

11. 観光客をはじめとした市外からの来訪者の移動手段の確保に関する調査検討

取組概要

来訪者向けに鉄道駅や高速バス停留所付近から市内の観光施設や社寺仏閣、主要施設までの移動手段の確保についての調査検討

- 加東市の観光入込客数が年々増加していることを踏まえて、加東市外からの来訪者向けの地域公共交通の確保に関する必要性や有用性について、検証を行う必要がある。
- まずは来訪者の鉄道駅や高速バス停留所から観光地（東条湖おもちゃ王国、朝光寺等）や交流拠点（道の駅とうじょう、やしろショッピングパーク Bio 等）に向かう移動手段の確保に関する調査を行い、加東市内の主な移動手段や来訪頻度、移動ニーズを把握する。
- 調査にあたっては、交通事業者や観光協会、企業等と連携して、来訪者の移動ニーズを正確に把握できるように十分な協議を行う。



朝光寺

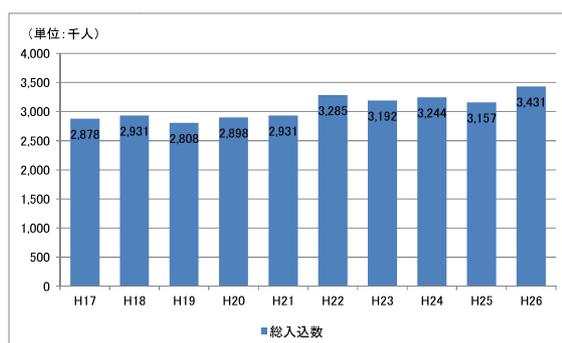


東条湖おもちゃ王国



播州清水寺

- 加東市内の観光入込客数は年々増加し、平成 17 年度と比較して、平成 26 年度は約 553,000 人増加（19%増加）し、3,431,000 人となっている。



出典：兵庫県観光客動態調査

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		◎	○	◎			企業等

12. 情報通信技術 (ICT) を活用した利便性向上

取  
組  
概  
要

情報通信技術 (ICT) の活用による高齢者や障害者等の地域公共交通利用に対する利便性の向上

- 特に高齢者や障害者をはじめとした交通弱者に対し、IC カードの利用促進を行うことで、地域公共交通の利用向上につなげる。

来訪者に対する利便性の向上への活用検討

- GPS を用いた路線バス車両の位置情報や乗り継ぎ案内、時刻表等の交通サービスについて、インターネットやスマートフォンを活用した利用促進を行う。
- また、IC カードやインターネットの経路検索データ、携帯電話の位置情報等の ICT 機器により収集できるデータ (ビッグデータ) を活用して、地域公共交通の路線や運行ダイヤの見直し等のサービス向上につなげる。

【ICT の活用イメージ】

- 路線バス車載の GPS 機能を用いたスマートフォンで閲覧可能なバスロケーションシステム

神姫バスナビが、より見やすく、使いやすく。

オレンジ色を追うと、スムーズに検索  
済に導く操作部分が、オレンジ色になって簡単です。



神姫バスでは平成 27 年 4 月から姫路エリア、平成 28 年 4 月から全エリアでバスロケーションシステムを導入している。本システムではスマートフォンやパソコンから運行中の路線バスの遅延状況を確認することができる。

出典：神姫バスホームページ

図 神姫バスにおけるスマートフォンからも閲覧可能なバスロケーションシステム

事業 エリア	加東市全域							
実施 主体	行政	交通事業者			観光 協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	○	○			

- 加東市内を運行する地域公共交通機関はそれぞれ独自の IC カードを設定している。



出典：JR 西日本ホームページ、神姫バスホームページ

参考図 交通系 IC カード ICOCA（左：JR 西日本）、NICO Pa（右：神姫バス）

- JR 西日本・神姫バスともに、交通系 IC カードの全国相互利用サービスにより、下記の IC カードも利用することができる。



出典：神姫バスホームページ

図 市内で利用可能な交通系 IC カード

- ただし、NICO Pa については割引ポイントが付与されているので、JR 西日本では利用できない。

13. 分かりやすい、利用しやすい運賃のあり方等に関する取組

取組概要

市内外の利用者にとって、分かりやすく、利用しやすい運賃について、交通事業者や関係者と協議・連携

- 市民だけではなく、加東市外からの来訪者にとっても分かりやすい運賃のあり方が必要である。
- 運賃形態として、現行の対キロ制以外に均一制・区間制・ゾーン制等の導入が挙げられる。
- 運賃形態の導入に際しては、運賃の収支試算等を通じて、交通事業者と十分な協議を行う。
- 他に、回数券割引や乗り継ぎ割引、ファミリー割引等の様々な割引制度が考えられる。

【分かりやすい運賃及び割引制度の例】

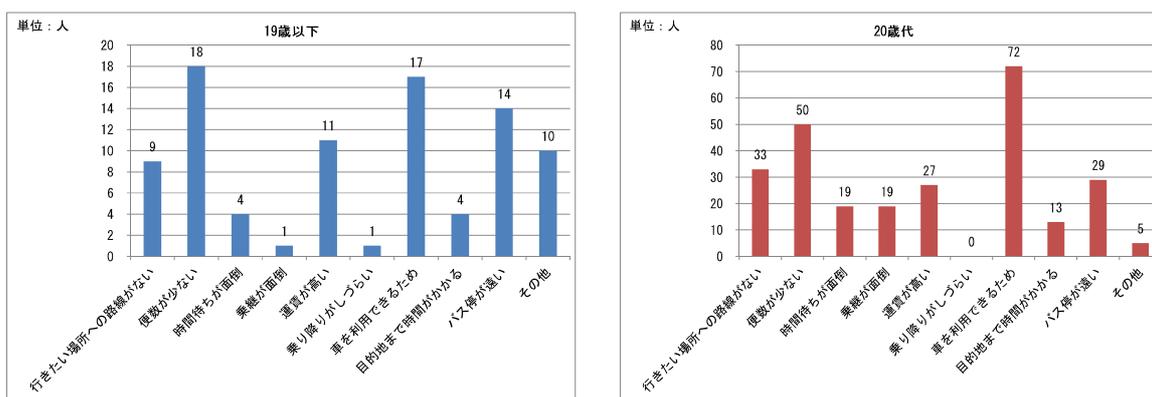
● 加東市運営有償運送の場合

乗車運賃・・・地区内移動一律 100 円      地区外移動・・・一律 300 円  
 回数券（1冊5枚綴り）を事前に購入。

● 路線バスの乗り継ぎ割引（神姫バスの例）

ICカード（NicoPa）を利用した場合は、60分以内の乗り継ぎで80円割引（大人）。

地域公共交通の一つである路線バスを利用しない理由を調査したところ、特に19歳以下と20歳代では、他の年代と比較して、利用運賃の高さに関する不満が高いことが分かる。



参考図 路線バスを利用しない理由

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	○				

14. バリアフリー化の推進

取組概要

鉄道駅や高速バス・路線バス停留所における設備や車両のバリアフリー化及び「心のバリアフリー」に関する取組の推進

- 鉄道駅や高速バス・路線バス停留所におけるバリアフリー化を推進する。
- 例えば、スロープ等による段差解消、点字ブロックの設置による視覚障害者の誘導、車いす対応トイレの設置、階段や通路への手すりの設置等が挙げられる。
- また、車いすスペースのある電車やバス、ノンステップバスの導入等の車両のバリアフリー化が考えられる。
- 設備や車両のバリアフリー化だけではなく、地域公共交通を利用する市民に、高齢者、障害者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」に関する意識醸成も行う。
- 例えば、誰もが安全・安心に地域公共交通を利用できるようにするために、目の不自由な人や高齢者、妊婦等に座席を譲ることや声をかけることを市民が自発的に行えるような啓発活動を行う。

- 路線バスのバリアフリー車両導入によるバリアフリー化

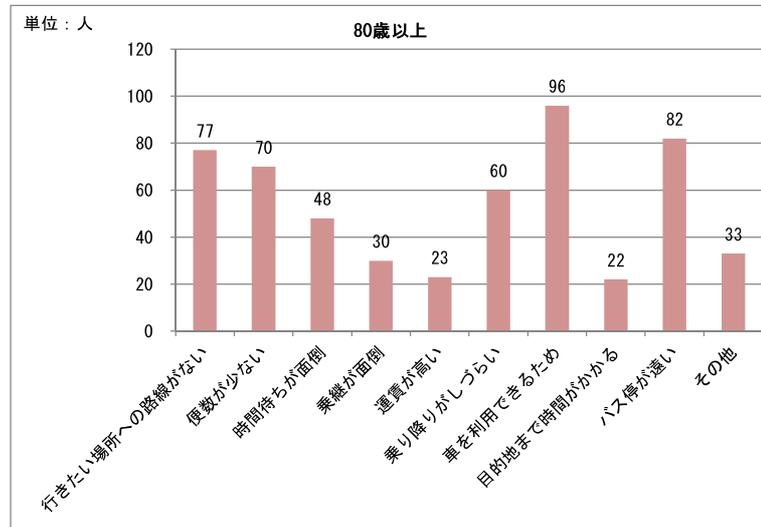


出典：神姫バス

図 神姫バスにおけるバリアフリー車両の導入事例

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	○			◎	

- 80歳以上で、路線バスを利用しない理由のうち、「乗り降りがしづらい」に関する割合が高い。



参考図 80歳以上の路線バスを利用しない理由

- 路線バスの一部には車いすに対応していない車両があり、乗降がしづらくなっている。

15. 市町村運営有償運送の事業補助・拡大

**重点施策**

取組概要

米田ふれあい線やきよみず線の利用者増加を踏まえた事業拡大及び市内の他地区における導入に向けた取組

- 米田ふれあい線やきよみず線における利用者増加を踏まえて、市内の他地区でも、市町村運営有償運送の導入を検討することが考えられる。
- 市内で導入を検討する地区に対して、導入方法等の情報提供を分かりやすく、随時提供する。
- また、利用者を確保するための運行ルートや運行ダイヤの設定を地域主体で進める。
- 運転手の確保や運行サービスの安全性確保については、導入を検討する地区と十分に協議を行う。
- 導入を検討している地区以外の需要や既に導入済みの地区の実体験に基づく知識の共有を図るために、市町村運営有償運送に関する議論や意見交換の場を設ける。

【市町村運営有償運送の事業補助イメージ】

- 市内の他地区でも、米田ふれあい線・きよみず線の運行ノウハウ等を活かして導入



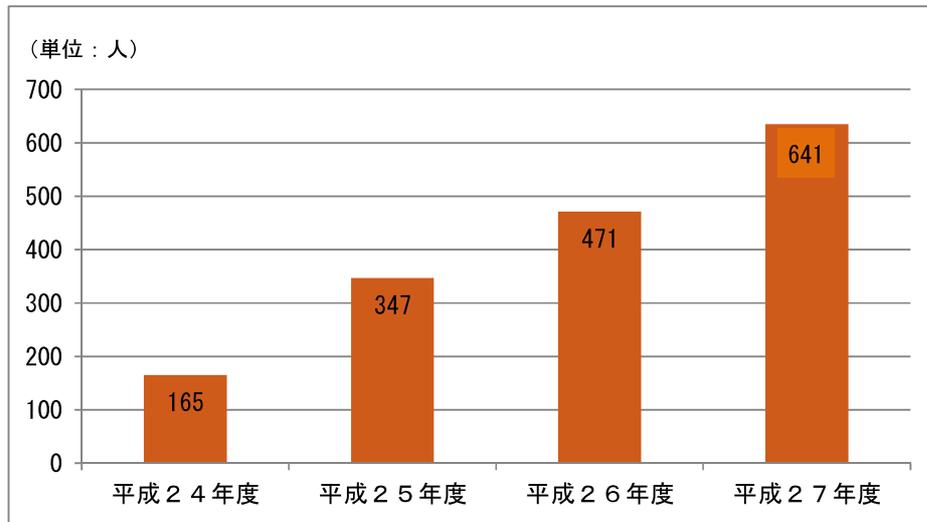
米田ふれあい号



きよみずバス

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎		○	○			◎	

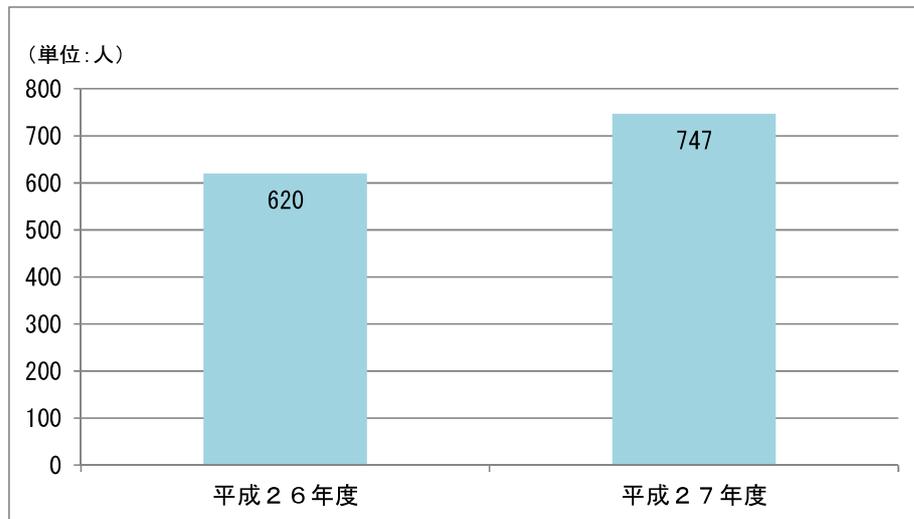
- 現在、市内の2つの地域（米田ふれあい線、きよみず線）で市町村運営有償運送が展開されている。
- 米田ふれあい線の利用者数は平成24年度の事業開始から年々増加している



参考図 米田ふれあい線の利用者数

※平成24年10月運行開始

- きよみず線の利用者数は平成26年度の事業開始から増加している。



参考図 きよみず線の利用者数

※平成26年5月運行開始

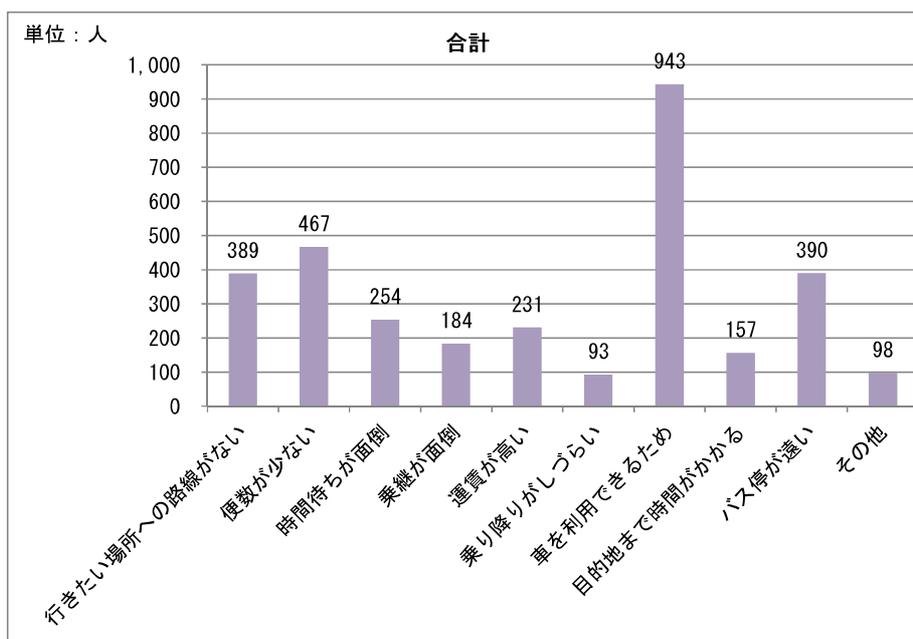
16. 各種施設(医療施設、商業施設、企業等)やイベント等と連携した地域公共交通の利用促進

取組概要

施設やイベント等との連携により、市内の利用者に対して、地域公共交通の利用の仕方や利用による特典等をPRして利用促進

- 地域公共交通に触れる機会を多く設け、地域公共交通に対する心理的バリア（使いにくそう、子どもだけでは使えなさそう等）を下げて、地域公共交通の利用促進を図る。
- 利用促進の方法としては、例えば、子ども向けのバス体験乗車イベントや車庫見学会、地元の夏祭り等への参加が挙げられる。
- また、加東市内の主要施設（やしろショッピングパーク Bio）や交通事業者と連携して、例えば1,000円以上の買い物をした場合に、路線バスの利用運賃が割引になるサービス等が考えられる。

- 加東市内の路線バスについては、便数の少なさやバス停留所の遠さ等の理由により、利用しないという意見がある。



参考図 路線バスを利用しない理由

- 交通事業者は、CSR活動の一環として、地域に根差した活動を多く実施している。
- ※CSR活動とは、企業が社会に対して責任を果たし、社会と共に発展していくための活動。

事業エリア	加東市全域							
実施主体	行政	交通事業者			観光協会	商工会	市民	その他
		鉄道	バス	タクシー				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

## 公共交通に係る概算費用の見積りについて

### <平成27年度実績>

#### 1. 路線バス補助

(支出)	13,908,000円	(事業者への補助総額)
(収入)	5,915,000円	(国・県からの補助金額)
(実質負担額)	<u>7,993,000円</u>	

#### 2. 市町村運営有償運送事業

(支出)	1,880,266円	(委託費：1,466,254円＋その他経費：414,012円)
(収入)	447,000円	(使用料収入)
(実質負担額)	<u>1,433,266円</u>	

### <概算費用のシミュレーション>

#### 1. 路線バスの広域幹線を残し、接続する支線部分をコミュニティバスで運行した場合

##### 1) 路線バス補助

(支出)	11,075,000円	(天神・電鉄小野駅線関連路線の補助額2,833,000円を差し引いた事業者への補助額)
(収入)	5,915,000円	(国・県からの補助金額)
(実質負担額)	<u>5,160,000円</u>	

##### 2) 支線のコミュニティバスによる運行

- ①滝野東・上福田地区～社
- ②福田地区東部～社
- ③滝野南・福田地区西部～社
- ④東条地域内循環～天神

(全日運行)	<u>72,000,000円</u>	(18,000,000円×4台)
(平日のみ運行)	<u>52,000,000円</u>	(13,000,000円×4台)

※運賃収入は含んでいません。

##### 3) 市町村運営有償運送事業(米田・鴨川)

(実質負担額)	<u>1,433,266円</u>	※上記平成27年度実績額
---------	-------------------	--------------

※社・三田駅線の久米経由のルートを大学経由にした場合、路線バスとの競合区間が減少するため、米田ふれあい線における利用対象区域の拡充が考えられる。

#### 2. 定時・定路線型タクシーまたはデマンド型乗合タクシーによる概算経費

1台1時間当たり	5,560円	×	8時間運行(午前8時～午後5時、昼1時間休)	
				= 1日44,480円
平日5日間運行(土日祝及び8/13～15、12/29～1/3運休)	年間241日			
	44,480円	×	241日	= <u>10,719,680円</u>